

アメリカ消滅？ 1

(や＝山田 学)〔☆★アメリカ消滅？★☆☆1991年に、1917年ロシア革命からの人工国家、ソ連邦が、崩壊した。今また、1776年独立宣言からの人工国家、アメリカ合衆国に、なんらかの終りが、あるのかもしれませんが。日本人は明治維新以来、欧米にあこがれ、とくに戦後は、米国にあこがれてきた。が、実はその米国、すでに戦争直後から、戦時好況をある意味にて持続したく、腐敗が開始されてきたやうです。1946年、米国連邦議会にて、「ロビイング規制法」が成立。これが実は、あからさまな、贈収賄奨励法でした。まさに、国家独占資本主義の典型であり、国家機関が、独占企業などからの献金を通し、独占企業などの思ふやうに左右される、体制です。この法律から、米国の腐敗がいかに進んできたか。増田悦佐^{えつすけ}先生が、次の最新作にて、総合的に、論じられました。

『アメリカ消滅イスラエルと心中を選んだ史上最強の腐敗国家』(ビジネス社2024年5月)

<https://www.honyaclub.com/shop/g/g20962176>

米国は、もうはや、日本人のお手本、あこがれではありません。といふより、もうはや、反面教師です。わが日本からこそ、健康平和への道を、はじめませう。

この本には、さまざまな証拠があふれていますが、次のまとめのことばのみ、引用いたします。(原文の太字部分に___を付した。)

(『アメリカ消滅』109ページより)〔贈収賄奨励法制定以降のアメリカ社会は、何から何まですべてカネを有効に使ってあらゆる法律や制度を自分たちに有利なかたちに変えた者が勝ちというあさましい社会になった。その結果、連邦議会議員の倫理性に対するアメリカ国民の信頼は地に堕ちている。…〕

(同223ページより)〔カネの力で法律や政策を自分の都合のいい方向に変えられる社会は、必ず腐敗と墮落の中で底なし沼に沈んでいく。〕

(や)〔日本民族には、ある意味、信じられない、民族差別意識について。まさに現在進行形のことと、アメリカの過去のこと。〕

(同240～241ページより)〔イスラエルのネタニヤフ首相は「ガザにおけるイスラエル軍とハマスの戦いは、光の子たちとジャングルの掟で生きている獣たちの戦いだ」と言い放った。「ジャングルの掟で生きているパレスチナ人は皆殺しにする」と宣言したも同然だ。

この発言を喝采したイスラエルびいきのアメリカ人たちは、自分たちの祖先が先住民をほぼ絶滅に追いやってしまったことも、弁解するのではなく正当な権利の行使だったと主張したがっているのではないだろう

か。〕
(や)〔日本民族と日本国の自立について、すみやかに、思索と情念いたしませう。〕